



(左から、松村淳子京都府健康福祉部長，齋藤常子京都府更生保護女性連盟会長，金有作京都更生保護施設連盟会長，大川原康夫京都府更生保護協会理事長，桑村信慶京都府保護司会連合会会長，西脇隆俊京都府知事，横地環京都保護観察所長，京の社明くん)



“社会を明るくする運動”の強調月間がスタートした7月1日，京都府庁にて西脇京都府知事に内閣総理大臣メッセージの伝達を行いました。講演会等，多くの人が集まるイベントの開催が困難になっていますが，各地区推進委員会では，ケーブルテレビや地方のFM局の番組に出演したり，例年以上にポスター掲示を増やしたりする等，地域の中で目に見える活動を展開している様子が報告されました。西脇知事には，「新型コロナウイルスは人と人とのつながりを断つものですが，みなさんがその中でも頑張っていらっしゃる様子がわかりました。」と私たちの活動を認めていただき，激励の言葉をいただきました。

